

## 令和3年度 指定管理施設に係る事業報告概要

施設名	千代田区立スポーツセンター	所在地	千代田区内神田2-1-8
-----	---------------	-----	--------------

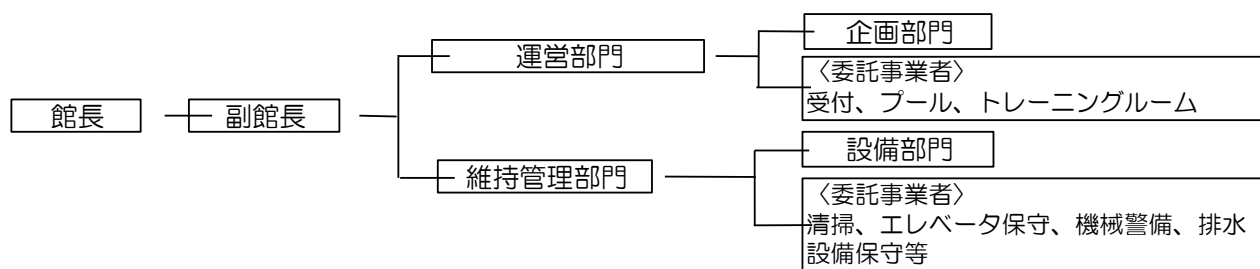
### 1 指定管理者の概要

名称	ミズノグループ		
構成団体 1	美津濃株式会社	代表者	代表取締役 水野 明人
所在地	大阪府中央区北浜4丁目1番23号		
構成団体 2	株式会社小学館集英社プロダクション	代表者	代表取締役社長 都築 伸一郎
所在地	千代田区神田神保町2丁目30番地		
構成団体 3	大星ビル管理株式会社	代表者	代表取締役 寺島 剛紀
所在地	文京区小石川4丁目22番2号		
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日	報告期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日

### 2 管理施設の概要

施設の目的	区民(区に住み、働き、学ぶすべての人を言う。以下同じ)の生涯スポーツ及び生涯学習の振興を図ることを目的とし、生涯スポーツ及び生涯学習活動を実践できる場の提供及び支援に関する事業を行う。
管理業務の内容	(1)センターの施設の利用承認に関すること。 (2)生涯スポーツ関係団体及び生涯学習関係団体の育成及び連携に関すること。 (3)生涯スポーツの指導及び助言に関すること。 (4)生涯スポーツの適正並びに健康及び体力の維持、増進等に係る相談に関すること。 (5)生涯スポーツ活動及び生涯学習活動の普及、推進に関すること。 (6)施設の保守及び維持管理に関すること。 (7)その他館の事業及び管理運営に関し必要な業務。

### 3 管理体制の状況



### 4 事業実績等

#### (1)スポーツ施設

年度 \ 施設	総数	主競技場	剣道場	柔道場	卓球場	弓道場	相撲場	トレーニングルーム	プール	ゴルフレンジ	多目的室	集会室	見学者
3年	142,667	30,389	9,640	9,435	11,456	12,580	471	25,962	27,405	4,177	4,572	6,357	223
2年	116,393	24,545	5,469	4,389	12,278	11,861	292	18,112	24,420	4,148	4,655	6,094	130
元年	289,061	69,316	17,263	15,051	22,653	19,801	1,456	62,483	52,734	4,311	9,923	13,543	527

(2)生涯学習施設(スポーツセンター7.8階)

年度	総数	区民・一般団体利用件数	事業利用団体
3	1906	1791	115
2	1721	1712	9
元	3227	3103	124

主催事業

- スポーツ教室： エアロビクス教室、リズムシェイプアップ&チビッコ体操教室、ちよだキッズスポーツ塾  
 運動会必勝塾(かけっこ教室)、苦手克服教室(マット&鉄棒&跳び箱)、短期水泳教室(苦手克服・スキルアップ)  
 ※アクアピクス教室、運動会必勝塾(走り方教室)は新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部中止
- 週間プログラム： リズムエクササイズⅠ&Ⅱ、かんたんストレッチ、かんたんピラティス、ボディシェイプアップ、  
 ヘルシー体操、はつらつ体操、リフレッシュ体操、水中エクササイズ
- 短期教室： やさしいヨガ、はじめてのピラティス、はじめてのバレエエクササイズ、バレトン、たのしくフラダンス、  
 たのしくジャズダンス、キッズダンス(幼児クラス、小学生クラス)、  
 ※卓球教室(入門・初心者クラス、中級クラス)、成人水泳教室、親子水泳教室、小学生水泳教室は  
 新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部中止
- スタジオプログラム：ヨガブレイク、ベリーダンスエクササイズⅡ、ズンバSP、ヨガフィット、バレトン&ズンバ、  
 バレトンSP、キックボクシングエクササイズ、モーニングピラティス、ステップエクササイズ、  
 姿勢改善ピラティス、ソフトモーニングヨガ、モーニングヨガ、バラエティダンスフィット、  
 かんたんエアロビクス  
 ※ベリーダンスエクササイズⅠ、ナイトヨガ、特別レッスンは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部中止
- プールプログラム： 4泳法(基礎・中級・上級)  
 ※他プログラムは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部中止
- スタディプログラム：マイケル先生と楽しい英会話(初級&初中級&中級&上級)、知子先生と楽しむ英会話(初級)  
 意外と楽しい中国語、カラダリセット、かんたん本格スイーツクッキング、ハッピーハンドメイド  
 ※マイケル先生と楽しい英会話(初級&初中級&中級&上級)については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため  
 一部中止

収 入		支 出	
指定管理料	138,599,000円	人件費	53,920,494円
利用料収入	31,937,135円	維持管理費	158,119,077円
事業収入	27,918,200円	事業運営費	20,568,764円
その他の収入	5,707,096円	その他の支出	20,705,227円
R3.4月~R4.3月売上補填	46,962,650円		
合計(①)	251,124,081円	合計(②)	253,313,562円
収支差額(①-②)	-2,189,481円		

## 6 指定管理者による自己評価

サービス提供に関して	収支に関して
<p>・本年も引き続きコロナウイルス感染拡大防止対策を重視した利用者サービスを心がけて、利用制限、人数制限などの制約の多い運営となった。10月からは基本的なコロナ対策として入館時の検温と手指消毒の徹底を行いながらも、徐々に制限を緩和し1月から通常営業に戻ったが、さらに続くコロナ禍での運営は今年度も集客に大きな影響を及ぼした。利用者数は、ピーク時（H30年度）に比べ47%（142,667人／304,496人）と半分を割り込み、団体利用件数は、ピーク時に比べ75%（4,527件／6,035件）と減少した。大会の中止なども重なり団体利用人数はピーク時の48%（67,261人／140,160人）となった。施設貸し出しでは、一般利用者の予約取消・変更だけでなく、区や体育協会の事業変更に伴う取消や変更も度重なり、変更後の予約重複等が生じないよう、通常にも増して注意を要する対応が求められた。プログラム実施にあたっては、感染防止を意識しできる限りスタジオを避け、大きな部屋に変更する等感染防止を優先した対応を心がけた。また、各競技の個人開放もマスク着用のお願いやマスク未着用時の会話の制限など、個人開放指導員の対応にも負担がかかる1年となった。休会中のすばすた会員へは復帰を促すハガキの送付、減少した会員の入会募集は、2週間お試しキャンペーンなどを行うも大きな成果は得られなかった。しかし昨年度から本格的に導入したトレーニングルームでのパーソナルトレーニングは徐々に定着しつつあり、高齢者の健康維持管理に貢献している。尚、7・8月は東京五輪バレーボール練習会場として施設を貸し出したため一部一般の利用が制限された。</p>	<p>・収入合計は、前年度比109.6%（17,890,543円増）となった。補填（46,962,650円）を含む収入は予算比93%（18,158,919円減）となり、予定通りの収益を上げることは出来なかった。指定管理料を除いた運営収入では前年に比べて112.9%（12,911,981円増）の増収となったが、ピーク時（H30年）に比べると50%（65,355,973円減）となり利用収入での収益構造が大きく崩れてしまったと言える。団体利用を中心とした施設利用収入は、利用者が減少したとはいえ予算比73%（11,997,865円減）と押さえられたが、個人利用が柱の個別指定事業収入では予算比41%（27,500,300円減）と大幅に減収となり、ビジネスマンを多く抱える千代田区特有の利用者構成が個人利用減の大きな要因となっている。また、テレワークなどの働き方の変化によって回復にも時間を要する状況が感じられる。</p> <p>・コロナ感染症に係る損害・損失負担金として、R3.4月分～R4.3月分まで¥46,962,650を計上した。</p> <p>・支出合計は、前年度比94%（15,969,438円減）。修繕費は計画通り進むも老朽化に伴う突発的修繕もあり予算比102%（91,228円増）となった。委託費は同じく業務委託しているインストラクターへの報酬など含んだ個別指定事業費と独自指定事業費を合算した実績では予算比で99%（1,294,938円減）となり予算内に収まった。</p>

## 7 区による評価・業務改善要求

新型コロナウイルスの感染拡大が収まりを見せず、感染予防に関しては非常に気を配った運営を行った。しかし、スポーツセンターの閉館、利用時間短縮、利用人数制限、といった運営が続き、昨年に引き続き収入の減少が避けられない状況となる。また7・8月は東京五輪実施のため練習会場として貸し出したことで、さらなる収入減となった。しかし9月以降、外出制限が解除されていく中、さらなる感染予防の徹底を図り、人数制限はあるもののプログラムを工夫して休講を減らすような努力を行っていったことで、少しずつではあるが利用者が戻りつつある。こうした努力は高く評価したい。今後も工夫と努力を継続することを望む。

## 8 今後の指定管理に区が期待すること

令和4年度に指定管理者の第4期が始まる。予期できないトラブルがあったり、新型コロナウイルス感染症の流行もすぐに収まるとは限らず、スポーツセンターの運営は今後も厳しい状況が続くことが予想される。利用者とスタッフ双方に安全安心を心がけた運営を引き続き行いつつ、サービス提供の工夫と努力を継続することを期待する。